

# 丹波篠山山の芋通信 第13号

令和3年7月14日 丹波篠山山の芋推進協議会・丹波篠山ブランド産品戦略会議

(丹波篠山市・JA丹波ささやま・丹波県民局 丹波農業改良普及センター)

1/3

## 自分の圃場の土質、灌水方法に近い地点の 灌水タイミング、水分の変化を参考にして **特秀率アップ!**

- 水分センサーのアプリで7月下旬～各地点の**直近の灌水日**を表示します

特秀率が高くなるよう、水分・ECのデータと圃場の状況を見ながら、**土質に合う灌水**をします。

### 【水分センサー設置圃場 土の性質・灌水方法 まとめ】

**知足** 砂混じり。谷川のそば、日照時間短い。

→谷水は、17時～入れ始め、朝4～5時に落とす。

畝の高さ8割位に排水口の止水板の高さを調整。  
(それ以上高いと根傷みが心配)

追肥は梅雨明け前(7/15～20)の予定。

例年は谷の表面が  
白くなってきたら谷水。

↓  
今年はこれより  
やや早めにとる予定。



**味間南** 壤土 保水性・排水性が高い。

頭上灌水(スミサンスイ)  
17時～約1時間、散水  
アグリシート上に水が少し  
たまる程度(1時間で引く)。  
乾きが強いと感じる時は  
1.5時間散水。



追肥後、降雨がなく、葉のしなびが強いと感じたら散水。  
それ以後は、乾かさないう、水分23%になると散水。

**郡家** 粘土 保水性が非常に高い。畝を高くしている。

頭上灌水(スミサンスイ)  
日が落ちた後、3時間ほど散水(足跡に水がたまる位)。  
一度散水したら、乾かさないう、こまめに散水。

**北野** 砂が多い。水がすぐ抜ける土質。

→谷水は、18時～入れ始め、約6時間後  
畝高さから10cm下の水位になれば落とす。  
(朝には谷に水が残らない)

追肥は7/20頃、畝全面(上と肩)散布し、葉についた  
肥料を動噴で飛ばす。

本格的な灌水は8/10頃～こまめにする。

藁をめくり、畝上半分の  
土の表面が白くなって  
いたら谷水。

(晴天続きなら5日おき)



### 粘土質の【水が抜けにくい】圃場では

・日中、水が溜まって根腐れをおこす可能性が高いため、  
畝を高く、谷はきれいにさらえ、**表面排水を徹底**。

・少なめの回数でも水がもつよう、  
**土づくりに努め、根を深く張らせる**。【特に重要】

・特に、谷に藁を敷いている場合、水口から排水口まで  
水を走らせるにも、水を落とすのにも時間がかかる。  
→3時間の走水を2日連続して、畝の中まで染み込ませる。

・近年は夕立がないため、頭上灌水で肥料を効かせるとよい。  
(3ページ目の写真参照)

**当野** 砂が多い。水がすぐ抜ける土質。

→谷水は、18時～入れ始め、数時間後  
畝高さから10～15cm下の水位になれば落とす。

乾きが気になる時は、  
止水後、落とさない。

(朝には全て染み込んで  
谷に水が残らない)



**藤之木** 壤土 保水性・排水性が高い。

土作りに有機物を多用。畝上のもみ殻は厚さ3cm

→谷水は、18時～入れ、  
畝高さから10～15cm  
下の水位になれば  
すぐ落とす。(21時前)



(一晩溜めると  
根が傷む心配あり)

無被覆部分は乾いている。  
細かな団粒。柔らかい

もみ殻の下  
は適湿!

## 8/10~9/20 芋肥大期に 土壌水分の変動少 + 最大の肥効 → 特秀率 & 収量アップ!

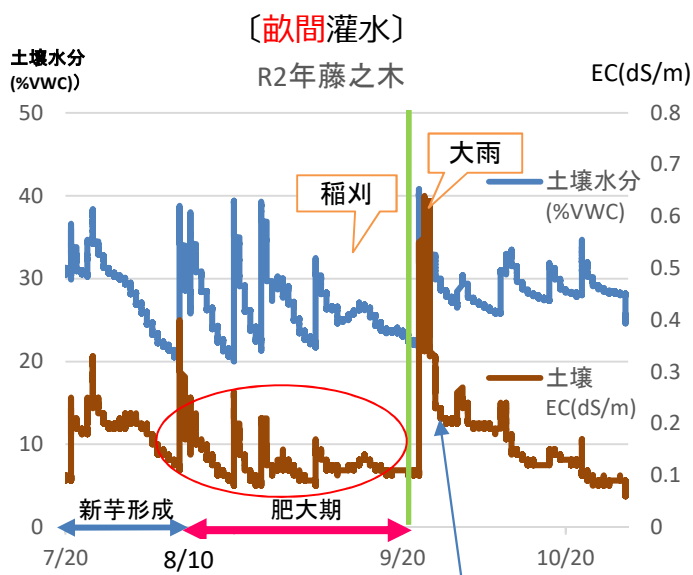
灌水遅れ・根傷みで 芋肥大期に肥料が吸収されない  
 → 肥料の後効き  
 → 優・外品の原因

### ● R2年、芋肥大期に雨が降らず、畝上の追肥が溶けなかった?!

8月の少雨の影響で、一部の圃場で、肥料が残り 9月下旬に溶けていたデータがあり、芋の品質との関係をもてみました。

一般的な生育期間の  
 EC 0.2~0.7ds/m  
 (肥料が溶出→高くなる)

・例年より**特秀率低め**だった圃場



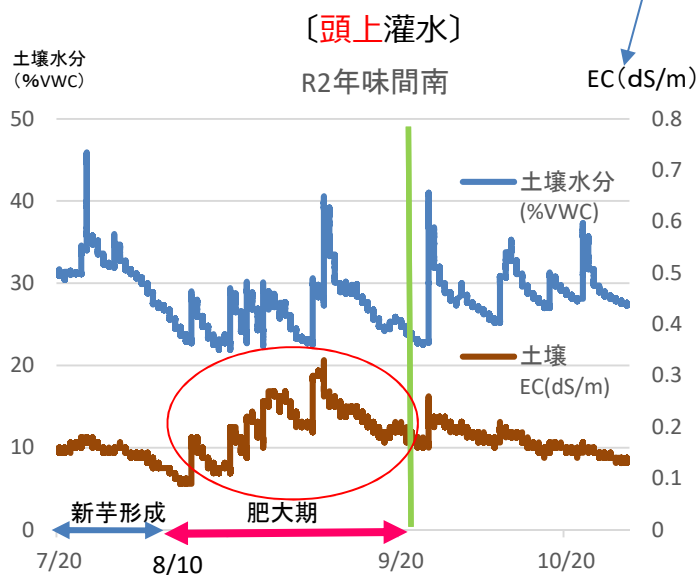
新芋肥大期(特に後半)  
 ECが低い。

肥料が後効きすると  
 芋が変形する時期に  
 ECが高くなった

水分が減ってから谷水  
 →肥効が、途切れたり  
 遅れたりした可能性

二次肥大で  
 優36%  
 外32%  
 (R2年は例年より変形多い)

・**特秀率高い**(例年並)圃場



肥料の後効きが  
 少なく、  
 芋の形状が安定

こまめな頭上灌水(水分が安定)で  
 肥効が続いた

今年は、  
 追肥を早め、少なめにしよう  
 かな...  
 早めに谷水をとりようかな...

高収益ポイント

8/10~9/20  
 (芋肥大期)

肥効を最大に

今年は、  
 もう少し早めに散水して、  
 肥料を早めに  
 効かそうかな...

最大にする工夫は、次のページへ!

## 高収量・高特秀率の 篤農家の工夫の例

- 肥大期に少雨の場合を想定し、追肥の時期や位置、灌水の工夫を検討中 篤農技術の事例を参考にご紹介します。



追肥を  
7月中旬（梅雨明け前）に  
やると、雨で溶けやすい！



スミサンスイ  
(穴あきチューブ)  
など  
頭上灌水を導入  
結果は良好！



霧状に  
散水

追肥は、谷水を落とした後、  
谷や畝肩に施用。

根は畝肩の下の方まで  
伸びている(7/9撮影) →

- ・畝上が乾燥しているなら  
肥料が溶けて  
根に届く位置に 施肥。  
※水がたまると根が傷む。



農機具等洗浄用ノズル+ポンプで霧状の散水。  
2,3日おきに、夕方30分 (10a)



**コツ1**  
ノズルを絞って  
細かい霧にする  
  
谷に水がたまり  
にくく  
約10m位まで  
散水できる



谷水だと  
根傷みが気になる  
粘土質でも、  
灌水可能！

JA農機  
センター  
で購入

**コツ2**  
排水口の方から谷、畦を歩いて  
散水すると、粘土質でも  
谷に水がたまりにくい



高収益ポイント

8/10~9/20  
(芋肥大期)

肥効を最大に

## 小丸種芋 トレイ栽培 防除・排水・除草をしっかりと

5/11定植 7/9萌芽率 92%



- ★萌芽遅れの切片が乾かないように  
灌水し、萌芽率を高めましょう
- ★蔓がトレイから落ちないように  
管理しましょう
- ★草が生えたらすぐ抜きましょう

根も深く伸びます  
→排水重要



6/23 萌芽開始期

問い合わせ : JA丹波ささやま 営農指導課 (Tel079-556-2355)